



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月11日

上場会社名 株式会社メニコン 上場取引所 東・名
 コード番号 7780 URL <https://www.menicon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 田中 英成
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役経営統括本部長 (氏名) 渡邊 基成 (TEL) (052) 935-1515 (代表)
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	19,768	△4.1	1,985	6.6	2,118	11.9	1,387	11.7
2020年3月期第1四半期	20,613	4.9	1,862	46.3	1,893	51.7	1,242	62.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,476百万円(38.0%) 2020年3月期第1四半期 1,070百万円(55.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	36.78	36.51
2020年3月期第1四半期	35.25	32.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	92,680	53,902	58.0
2020年3月期	87,286	53,520	61.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 53,770百万円 2020年3月期 53,378百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	28.00	28.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,839	0.4	6,838	△2.8	6,821	4.1	4,256	4.8	112.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	38,027,444株	2020年3月期	38,015,944株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	287,836株	2020年3月期	287,836株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	37,734,448株	2020年3月期1Q	35,236,814株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に起因し、一時的な経済の減速が起きました。その後各国の経済政策の実施により少しずつ回復の見込みが立っておりますが、依然として不透明な状況が続いております。また、国内経済につきましても、同じく新型コロナウイルス感染者増加に伴う緊急事態宣言の発出により、大幅な消費活動の低下及び企業活動の自粛が生じました。その後同宣言の解除により、経済状況が回復傾向にあります。予断を許さない状況です。

このような経営環境の中で、当社グループは感染拡大防止を徹底する方針の下、事業活動に取り組んでおります。

各事業の状況は、以下のとおりです。

[国内コンタクトレンズ事業]

新型コロナウイルス感染症の影響による当社グループ販売店の営業時間短縮及び営業日数制限等に伴い、販売促進活動が制限されました。このような状況の中でも、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じながら営業活動を実施しユーザーの瞳の安全と当社の収益安定に貢献するメルスプラン事業の拡大に注力致しました。具体的には、メルスプランを通じて安全且つ便利にコンタクトレンズをご使用頂けるよう、正しい装用方法の啓発に取り組むと共に、宅配サービス「お届けメルスムータン」及び清潔・簡単に装用できる「SMART TOUCH (スマートタッチ)」を採用した1日使い捨てコンタクトレンズの推進に努めました。

また、幅広いお客様に立ち寄って頂ける魅力的な販売店を目指す一環として、4月にMenicon Miru 梅田茶屋町店を新たにオープン致しました。同店舗では「コンタクト×ライフスタイル提案型セレクトショップ」として、日常生活がより色鮮やかになるプロダクトとライフスタイルの提案を行います。コンタクトレンズはもちろん、Miruのブランドイメージに合致したシャンプーやネイル、ハンドクリームなど自然派でカラフルな商材を取り揃え、これまで以上にお客様に「選ぶ楽しさ」を体験して頂ける店舗となっております。

[海外コンタクトレンズ事業]

海外においても新型コロナウイルス感染症抑制のための世界的な外出自粛及び休業により、営業活動が影響を受けましたが、その一方で、当該環境下で感染防止対策を講じながら製造・物流活動の継続及び拡販に向けた活動に努めました。

欧州では、ディスプレイレンズ市場の拡大に対応し流通機能を強化することを目的にドイツのロジスティックセンターを拡張移転致しました。

アジアでは、6月に温州欣視界科技有限公司の持分を追加取得し、完全子会社化致しました。近年中国では近視人口及び、角膜不正乱視の治療希望者が増加しております。そのため、ハードコンタクトレンズ及び特殊レンズを短いリードタイムで現地の医療機関、患者様に提供する目的で製造拠点を中国に設けました。今後は当社の技術サポートの下、一層販売基盤の拡大に努めてまいります。

[その他事業]

株式会社メニワンにおける動物医療事業は、営業面で新型コロナウイルス感染症の影響を受けておりますが、商品企画に注力致しました。具体的には動物用医療機器の、検眼器具の「アイリスベットのlight」及び眼底カメラの「クリアビュー2」、サプリメントの「ベジタブルサポートドクタープラス グルタミン&オリゴ」の発売準備を致しました。環境バイオ事業は、稲わら分解促進材等の販売が堅調に推移しました。ライフサイエンス事業は妊活をサポートするサプリメント「プレグナ」シリーズ及び「ルナリズム」、ライフケアをサポートする「めにサプリ」シリーズ等の拡販に取り組みました。

このような状況の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国内グループ販売店の営業時間短縮及び営業日数制限等の影響を受けコンタクトレンズの物販売上高が減少致しました。一方で定額制会員システムであるメルスプランの会員数が前年同四半期と比較して増加致しました。その結果、売上高は19,768百万円(前年同四半期比4.1%減)となりました。営業利益は売上高に対する売上原価の比率が上昇しましたが、販売費及び一般管理費の比率が低減したことにより1,985百万円(前年同四半期比6.6%増)となりました。経常利益は主に海外子会社にて新型コロナウイルス感染症に関する助成金収入が計上されたことに

より2,118百万円(前年同四半期比11.9%増)となりました。以上の要因により、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,387百万円(前年同四半期比11.7%増)となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりです。

①コンタクトレンズ関連事業

コンタクトレンズ関連事業は、売上高は19,441百万円(前年同四半期比3.9%減)、セグメント利益は3,182百万円(前年同四半期比4.4%増)となりました。詳細は以下のとおりです。

コンタクトレンズ関連事業において前年同四半期と比較して売上高が784百万円減少致しました。主な要因は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国内グループ販売店及び卸の得意先販売店において営業活動が制限されコンタクトレンズの物販売上高が1,245百万円減少したことによるものです。一方でメルスプランは前年同四半期と比較して会員数が伸長しており、売上高も284百万円増加しております。

その他、市場拡大が続く中国事業につきましても引き続きオルソケラトロジーレンズ及びコンタクトレンズケア用品の販売が堅調に推移致しました。

セグメント利益につきましては、営業活動の縮小により販売費及び一般管理費の使用が限定された結果、前年同四半期と比較して伸長しております。

②その他

その他事業は、株式会社メニワンにおいて新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い医療機器の販売が減少したことにより、当第1四半期連結累計期間における売上高は327百万円(前年同四半期比15.7%減)、セグメント損失は146百万円(前年同四半期セグメント損失は103百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末において総資産は92,680百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,393百万円の増加となりました。流動資産は主に長期借入の実行による現金及び預金の増加により、5,439百万円増加し47,161百万円となりました。また、固定資産は欧州ロジスティックセンターにて拡張移転を行ったことにより使用権資産が増加したものの、減価償却費を計上したことにより、45百万円減少し45,518百万円となりました。

(負債及び純資産の部)

負債は主に長期借入金の実行及びリース資産の取得に伴うリース債務の増加により、前連結会計年度末に比べ5,011百万円増加し38,777百万円となりました。

また、純資産は主に配当金を支払ったものの親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ381百万円増加し53,902百万円となりました。

この結果、自己資本比率は58.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大と収束見通しが先行き不透明な状況であり、業績への影響について合理的な算定が困難な状況であったことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定致しました。なお、感染拡大による再度の緊急事態宣言の発出等の社会的制限が実施されないことを前提として算定しております。

国内における緊急事態宣言の解除や海外における各地域での外出制限の解除によって当社グループも通常通り営業を再開し、売上高は回復傾向にあります。下半期(第3四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間)にて、今後の事業拡大に向けた販促活動や企業活動を実施するため、前年同期比での売上伸長が例年水準に戻り、通期では前年と同程度の業績になると想定しております。メルスプランは会員制であるため、会員数の増加に伴い前年より売上高が増加し安定的に推移すると見込んでおります。

第1四半期連結会計期間の実績値に上記の前提を踏まえた結果、2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、売上高84,839百万円、営業利益6,838百万円、経常利益6,821百万円、親会社株主に帰属する当期純利益4,256百万円を見込んでおります。

上記の連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は新型コロナウイルス感染症の収束時期等、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

配当につきましては、株主の皆様に対する継続した利益還元を経営の重要な目的のひとつと認識しており、継続的かつ安定的な配当の実施を基本方針としております。2021年3月期の配当予想につきましては、2021年3月期通期の連結業績予想の算定が困難であったことから未定としておりましたが、上記の連結業績予想及び上記基本方針に基づき、1株当たり28円の配当予想と致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,327	21,723
受取手形及び売掛金	9,733	9,534
商品及び製品	9,798	10,694
仕掛品	905	1,011
原材料及び貯蔵品	2,226	2,351
その他	1,878	1,998
貸倒引当金	△148	△153
流動資産合計	41,722	47,161
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,895	21,349
減価償却累計額	△10,204	△10,347
建物及び構築物(純額)	10,690	11,002
機械装置及び運搬具	22,447	22,734
減価償却累計額	△14,798	△15,187
機械装置及び運搬具(純額)	7,649	7,546
工具、器具及び備品	7,911	8,016
減価償却累計額	△6,559	△6,663
工具、器具及び備品(純額)	1,352	1,352
土地	4,926	4,947
リース資産	849	2,067
減価償却累計額	△726	△764
リース資産(純額)	122	1,302
使用権資産	4,782	5,269
減価償却累計額	△644	△818
使用権資産(純額)	4,137	4,451
建設仮勘定	5,793	4,552
有形固定資産合計	34,672	35,154
無形固定資産		
のれん	2,437	2,265
特許権	975	914
その他	3,651	3,587
無形固定資産合計	7,064	6,768
投資その他の資産		
投資有価証券	505	515
長期貸付金	48	47
繰延税金資産	1,254	963
その他	2,033	2,080
貸倒引当金	△15	△10
投資その他の資産合計	3,826	3,596
固定資産合計	45,564	45,518
資産合計	87,286	92,680

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,373	4,691
短期借入金	77	155
1年内償還予定の社債	1,465	1,548
1年内返済予定の長期借入金	1,798	1,751
リース債務	720	928
未払金	4,583	2,539
未払法人税等	1,398	576
賞与引当金	1,598	768
ポイント引当金	67	51
その他	5,669	5,422
流動負債合計	21,751	18,435
固定負債		
社債	4,082	3,566
長期借入金	1,692	9,276
リース債務	3,594	4,892
長期未払金	1,485	1,455
退職給付に係る負債	622	616
繰延税金負債	339	334
資産除去債務	105	107
その他	93	92
固定負債合計	12,014	20,342
負債合計	33,765	38,777
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,396	5,400
新株式申込証拠金	1	—
資本剰余金	6,658	6,626
利益剰余金	42,764	43,096
自己株式	△441	△441
株主資本合計	54,378	54,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	43
為替換算調整勘定	△1,020	△954
その他の包括利益累計額合計	△999	△910
新株予約権	88	86
非支配株主持分	53	45
純資産合計	53,520	53,902
負債純資産合計	87,286	92,680

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	20,613	19,768
売上原価	9,460	9,337
売上総利益	11,152	10,430
販売費及び一般管理費	9,290	8,445
営業利益	1,862	1,985
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	5	6
為替差益	4	—
助成金収入	41	156
その他	56	53
営業外収益合計	109	216
営業外費用		
支払利息	41	53
持分法による投資損失	24	6
為替差損	—	11
その他	11	13
営業外費用合計	77	84
経常利益	1,893	2,118
特別利益		
固定資産売却益	0	0
補助金収入	4	—
特別利益合計	4	0
特別損失		
固定資産除却損	7	16
その他	—	3
特別損失合計	7	19
税金等調整前四半期純利益	1,889	2,098
法人税、住民税及び事業税	287	427
法人税等調整額	359	283
法人税等合計	646	710
四半期純利益	1,242	1,387
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,242	1,387

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	1,242	1,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	23
為替換算調整勘定	△141	71
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	△5
その他の包括利益合計	△172	89
四半期包括利益	1,070	1,476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,069	1,477
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

2021年3月期の連結業績予想を感染拡大による再度の緊急事態宣言の発出等の社会的制限が実施されないことを前提として算定し、2020年8月11日付で開示しておりますが、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束見通し時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	コンタクトレンズ 関連事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	20,225	20,225	388	20,613
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	20,225	20,225	388	20,613
セグメント利益 又は損失(△)	3,047	3,047	△103	2,943

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、新規事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,047
「その他」の区分の利益	△103
全社費用(注)	△1,081
四半期連結損益計算書の営業利益	1,862

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	コンタクトレンズ 関連事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	19,441	19,441	327	19,768
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	19,441	19,441	327	19,768
セグメント利益 又は損失(△)	3,182	3,182	△146	3,035

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、新規事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,182
「その他」の区分の利益	△146
全社費用(注)	△1,049
四半期連結損益計算書の営業利益	1,985

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。